

公共下水道のお知らせ

6月1日から
湖南サンライズ、中山東、第二工業団地の
一部での供用を開始します



日野町の公共下水道事業は、平成7年度に供用を開始された内池・里口・上野田地区から整備を始めて以降、日野地区・西大路地区・必佐地区ならびに西桜谷地区の各一部で整備を進めてきました。

そして、この6月1日から新たに湖南サンライズおよび中山東、第二工業団地の一部での公共下水道整備が完了し、ご利用いただけることとなりました。

住みよいきれいなまちを
みんなでつくりましょう！
供用開始区域にお住まいの方は
速やかに下水道への接続を！

多額の資金を投入して公共下水道が整備されても、今までどおり、生活排水が側溝などを流れていたり、くみ取り便所のままだと生活環境は良くなりません。特に、台所や洗たく等の汚水は、河川や湖を汚す大きな原因となっています。

そのため、下水道法では供用開始区域の建築物の所有者に対して、宅内排水設備の速やかな設置と3年以内の水洗便所への改造を求めています。

快適でさわやかな暮らしの実現と住みよいきれいな町づくりのため、速やかに下水道へ接続いただきますようご協力をお願いいたします。



◆問い合わせ先 上下水道課 下水道担当 ☎626579 有線⑤8962

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

待望の日野中学校の校舎棟が完成し、新学期から授業が始まっています。4月の4日、5日に校舎見学会を開催したところ予想を大きく上

心に響く言葉はいいものです。日野町地域女性団体連合会の「あなたあ聞いて短い手紙コンクール」に寄せられた中学生の手紙の中に「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉がありました。素直な気持ちが伝わる手紙はいいものです。

回る約700人の方に参加いただきました。町民の皆さんの中学校建設に対する大きな期待と子どもたちの健やかな育ちを願う気持ちの表れだと思えます。見学された方から「立派にできてよかったなあ」「しっかりと勉強してや」などの声が聞かれました。

手紙といえば、今の中学生の思いを綴った「手紙く拝啓十五の君へ」というステキな歌があります。昨年度のNHK音楽コンクールの課題曲です。歌詞の内容は、十五才の中学生が「誰にも話せない悩みの種があるのです♪♪誰の言葉を信じて歩けばいいの♪♪苦しい中で今を生きている♪♪と未来の自分にあてた手紙を書き、未来の大人の自分から「自分の言葉を信じ歩けばいい♪♪人生のすべてに意味があるから、おそれずにあなたの夢を育てて♪♪笑顔を見せて今を生きていこう♪♪」と励ましの手紙が届くという歌です。

一方、解体する旧校舎に対する思いもあります。昭和46年から38年間、約1万2千人の生徒が学び巣立っていきました。3月の卒業式では「歴史ある校舎の最後の卒業生である私達は、この校舎で過ごした3年間をけっして忘れません。本当にありがとう。そして、長い間お疲れ様でした。今日の卒業生の言葉は、私たちとともに過ごした、この校舎に感謝の思いを込めて述べたいと思います」と語ってくれ、感動しました。

日野町の子どもたちが心をふるわせ悩みながらも自分を信じ夢を育て歩んでくれることを願うとともに「この手紙読んでいるあなたが幸せなことを願います♪」の歌詞のように誰もが幸せになれる社会をめざし努力したいと思います。